

2025年4月14日

2025年3月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は学参、金融関連に動きがみられたものの、小ロット案件が中心で前年を下回った。

巻取についても学参、生損保、チラシ関連に大口案件がみられず、年度末とは思えない状況で前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 89.7% 巻取 74.6%）

再生紙平判は役所、官公庁関連の入札案件が増え、前年をやや上回ったが、大口案件が少ないため、その分巻取は前年を下回った。

（前年比 再生上質平判 102.0% 再生上質巻取 92.9% 再生上質計 96.9%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 86.7%）

<A2 コート>

平判は、飲食店、デリバリー、ドラッグストア等で一部動きがあったが、不動産、教育関連の落ち込みも見られ、全体的に動きが鈍かった。また、一部微塗工上質紙へのシフトも見られ、グロス、マット共に前年を下回った。

巻取は、大型スーパー、ホームセンター等定期チラシ関連で一部において動きがあったが、雑誌、カタログ関連は落ち込んでおり、グロス、マット共に前年を大幅に下回った。

平判、巻取共に年度末需要も薄く、4月以降の需要動向も心配される。

（前年比 平判 91.4% 巻取 68.4% 全体 86.2%）

<A3 コート>

デリバリー、量販店等の定期的なチラシ案件の動きは見られたが、学習塾関連の動きが継続的に鈍く、前年を下回った。

（前年比 平判 96.3% 巻取 93.7% 全体 94.4%）

<ノーカーボン紙>

平判は金融・生損保の手書き用申請書の動きは見られたが、大口スポットは見られず前年を若干下回った。

巻取は前月の反動で動きはあったものの、生保系帳票の動きが鈍く、民間案件の決算前の買い控えもあり、前年を下回った。

（前年比 平判 97.0% 巻取 92.2%）

<上質フォーム>

税金関係の納付書の動きは例年並みにあるものの、DM系の動きが悪く、低調に推移した。

（前年比 92.2%）

<包装用紙>

特殊両更は国勢調査用封筒の需要が有った為に昨年を大きく上回ったが、全般的には年度末にも関わらず一般企業向け・金融保険向け等の動きが低調で昨年を下回った。

純白ロールは和菓子の包装紙などは堅調であったが、比較的好調であった前年の数字は下回った。

包装紙全体では94.5%と昨年を下回った。

(前年比 94.5%)

<板紙>

コートボールは土産物のインバウンドの恩恵も少なく、物価高の影響から嗜好品や日用品の動きが低調であった。

(前年比 99.8%)

特板は什器関係やPOP、化粧品の中国向けの輸出が依然として減少しており、全体的に低調であった。

(前年比 86.1%)

高板はトレーディングカード以外の出版用途も軒並み低調であった。

(前年比 98.5%)

チップボールも貼り箱等、パッケージ用途も低調であった。

(前年比 85.0%)

全体的には3月の年度末の盛り上がりもなく、在庫調整などにより前年を下回った。

(前年比 93.9%)